

インパクトコンソーシアム
第1回 データ・指標分科会資料
(2025年9月25日)

事務局

1. 開会
2. 事務局説明
3. 座長・副座長・ディスカッションメンバーのご紹介
4. 座長説明（第2期分科会の進め方）
5. データベースの案内板（試行版）のご案内
6. ディスカッションメンバーによる取組紹介
 - 6-1 CSRデザイン環境投資顧問
 - 6-2 三菱UFJ銀行
 - 6-3 ANAホールディングス
7. 事務局連絡／閉会

1. 開会

2. 事務局説明

コンソーシアムについて

- インパクト実現を図る経済・金融の多様な取組みを支援し、インパクトの創出を図る投融資を有力な手法・市場として確立し、事業を推進していくため、投資家・金融機関、企業、NPO、自治体等の幅広い関係者が協働・対話を図る場として、23年11月、官民連携の「インパクトコンソーシアム」を設置。
- 運営については、官民連携の場として政府から支援を行いつつ、参加者の自主的な課題設定・議論を旨とし、投資指標や事例、対話・支援手法等の産金間の実践上の知見・課題の収集・発信を中心としつつ、インパクト実現の取組支援につながる幅広い事項に係る議論を行う。また、必要に応じ、政策発信を含む対外メッセージの発信等を検討していく。



第2期スケジュールのイメージ

2025.9.4
第7回運営委員会資料

- 各分科会の具体内容やスケジュールは、分科会ごとに主体的・柔軟に検討・対応することとしつつ、議論の状況や今後の見通しなどを、運営委員会で報告いただき、翌年度の対応につなげていく。

年間イメージ

※あくまでイメージであり、状況を見ながら柔軟に調整

		2025						2026					
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
総会													第3回
			9/4 キックオフ										報告
運営委員会 アドバイザー委員会 グローバルアドバイザーパネル オーガナイズングデスク				他のインパクト関連団体や、各分科会の活動とも連携しながら、 海外有識者からの知見共有・日本の取組を海外へ発信									
				インパクト投資の認知・理解の更なる向上に向けた勉強会の実施									
分 科 会	データ ・指標			関心の高い分野のインパクト指標・データ・事例の整理、 インパクト・データベースの案内板の活用に向けた議論									
	市場調査 ・形成			インパクトの評価・開示等に関する事例研究・知見共有									
	地域 ・実践			地域企業に対する金融支援の具体事例を通じ企業評価のあり方等を議論									
					フィールドワーク								
官民連携 促進				「実践ガイド」を踏まえた自治体とスタートアップの連携の促進									

3. 座長・副座長・アドバイザー ディスカッションメンバーのご紹介

座長・副座長・ディスカッションメンバーのご紹介

メンバー

※敬称略・五十音順

- 座 長：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事 今田 克司
- 副座長：株式会社みずほフィナンシャルグループ グループCSuO補佐 末吉 光太郎
- アドバイザー：東京大学大学院経済学研究科 教授 山口 慎太郎
- ディスカッションメンバー（12名）
 - ・ 明治安田生命保険相互会社 青木 圭介
 - ・ ANAホールディングス株式会社 五十嵐 久人
 - ・ 農林中央金庫 岡本 純宜
 - ・ 株式会社キャピタルメディカベンチャーズ 後町 陽子
 - ・ 王子ホールディングス株式会社 齊藤 基三郎
 - ・ 日清食品ホールディングス株式会社 齊藤 圭
 - ・ 株式会社三菱UFJ銀行 重松 多聞
 - ・ オムロン株式会社 萩原 留美
 - ・ CSRデザイン環境投資顧問 堀江 隆一
 - ・ 株式会社環境エネルギー投資 森江 久美子
 - ・ Ubie株式会社 守屋 祐一郎
 - ・ 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 芳村 俊平

4. 第2期分科会の進め方

分科会座長 今田 克司氏

- 10

データ・指標分科会 今年度の取組（２／７）【第２期の概要】

概要

- 国内外の先行研究等と連携しながら、投資事例等の共有・分析等を行い、中長期的な課題解決・事業性実現等に有効なインパクト指標の設定のあり方、投資実施時のデータの収集・推計方法、社会課題を示すマクロデータのあり方など、データ・指標の項目と着眼点、収集方法等について、議論を行う。
- 第１期の議論をふまえて、インパクト・データベースの案内板（試行版）の実装・展開を行うとともに、事業者・投資家等の関心の高い分野（環境、ヘルスケア、インフラ）について、ディスカッションメンバー間において取組事例の共有・議論を通じて、あるべきインパクト・データベースの在り方を検討する。

メンバー

※敬称略・五十音順

- 座長：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事 今田 克司
- 副座長：株式会社みずほフィナンシャルグループ グループCSuO補佐（サステナビリティ・インパクト担当） 末吉 光太郎
- アドバイザー：東京大学大学院経済学研究科 教授 山口 慎太郎
- ディスカッションメンバー（12名）
 - ・ 明治安田生命保険相互会社 青木 圭介
 - ・ ANAホールディングス株式会社 五十嵐 久人
 - ・ 農林中央金庫 岡本 純宜
 - ・ 株式会社キャピタルメディカベンチャーズ 後町 陽子
 - ・ 王子ホールディングス株式会社 齊藤 基三郎
 - ・ 日清食品ホールディングス株式会社 齊藤 圭
 - ・ 株式会社三菱UFJ銀行 重松 多聞
 - ・ オムロン株式会社 萩原 留美
 - ・ CSRデザイン環境投資顧問 堀江 隆一
 - ・ 株式会社環境エネルギー投資 森江 久美子
 - ・ Ubie株式会社 守屋 祐一郎
 - ・ 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 芳村 俊平
- ゲストスピーカー
 - ・ 各分科会におけるテーマ等に応じて、第１期ディスカッションメンバー、新しい分野における先行事業者、海外データ提供機関、関連省庁、その他有識者等をゲストスピーカーとして招聘し、議論の活性化を企図

活動と成果のイメージ

1

インパクト・データベースの案内板（試行版）の実装・展開とフィードバック・改善点の収集

- 第1期に提示したインパクト・データベースの案内板のイメージに基づいて、その（試行版）のインパクトコンソーシアムウェブサイトへの実装・展開を行い、利用者からのフィードバック・改善要望等を収集。フィードバック等の内容を取りまとめ、民間事業者主導の更なる取組の推進材料として提示。

2

関心の高い3分野（※）におけるデータ・指標イメージ（指標集）の検討

（※）環境、ヘルスケア、インフラ

- 関心の高い3分野（環境、ヘルスケア、インフラ）に関わるデータ・指標について、既存のデータベース・省庁の公表物等をもとに、具体的な取組事例やベースライン値（※）等と紐づけつつ、官民連携の下で指標の整理を行う。
（※）取組前の状態や業界平均等の現状を示す基準値
- 指標の整理に際して、ディスカッションメンバーから発表・共有のあった取組事例については「事例集」としても取りまとめる。

- 開催形式は原則オンライン、1回につき2時間程度で、2026年3月までに4回程度の開催を予定（変更の可能性あり）
- 別途、分科会と異なる形式で、新しい分野における先行事業者、海外データ提供機関等をプレゼンターとする会も予定

データ・指標分科会 今年度の取組（4 / 7）【活動と成果のイメージ②】

データ・指標分科会の取組

データ・指標を活用する主な場面を
踏まえた既存データベースの整理

計画 → 実践 → 測定・評価 → 報告・活用・検証

場面1 インパクト
目標の特定

場面2 指標とベース
ライン値特定

場面3 アウトカム（実測
値）とベースライン
値の比較・評価

インパクト項目	指標	測定方法	データソース
SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)	SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)
環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標

インパクト項目	指標	測定方法	データソース
SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)	SDG Action 2030 (United Nations Global Goals)
環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標	環境・社会・経済の持続可能な開発目標

1 インパクト・データベースの案内板（試行版）の
実装・展開とフィードバック・改善点の収集



取組：案内版（試行版）のウェブサイト
実装とフィードバック・改善点の収集

インパクトの創出を成長機会に
結びつける好循環の実現に向けて
For materializing social or environmental impact
that fosters business potential.

各種指標・統計・
調査結果の活用

関係省庁等がまと
めるインパクト創出
・投資に関する情報

国内・海外データ
提供機関の活動

企業・投資家等の関心が高い課題分野の特定

環境

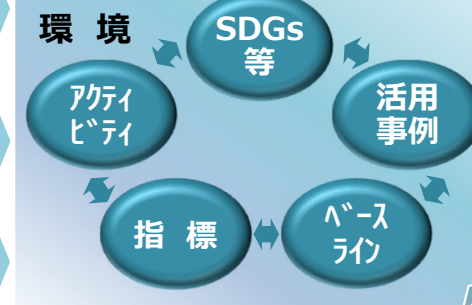
ヘルスケア

インフラ

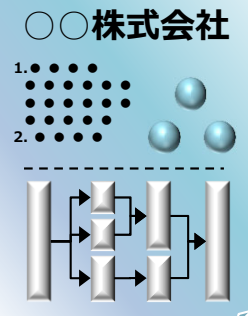
2 関心の高い3分野におけるデータ・
指標イメージ（指標集）の検討

取組：プレゼンターから発表のあった取組事例の共有・収集、
インパクト指標集（案）の考え方に関わる議論

指標集（案）イメージ



事例集イメージ



さらなるインパクト創出・インパクト投資の促進につながる対応の検討・推進

2024（第1期）

2025（第2期）

指標集（案）のイメージの考え方

【本指標集（案）の趣旨】

- 「指標集（案）」は、各事業者におけるアクティビティ・アウトプットが、どのようなアウトカムを経て、どうインパクト創出に至るかという過程をイメージすることに繋がるリストであり、インパクト創出に至るロジックを策定するための１つのツールとして作成・提供

※留意事項

- － 「指標集（案）」は、あくまでインパクト創出に至るロジックの考え方の手がかりを提示するものであり、インパクトコンソーシアムとして、本指標集（案）に掲載する情報の採用を推奨・保証したり、また、異なる考え方を排除したりする趣旨ではない
- － 将来的に、我が国において、インパクト創出・投資に関わる目標・指標等が検討される際には（ポストSDGsの文脈等において）、本指標集（案）が参考に供され、時代や社会の変化に応じて適宜改訂されていくことも期待

【本指標集（案）の策定の考え方】

- 「指標集（案）」は、2024年度データ・指標分科会の議論の中で、企業・投資家等の関心が高い課題分野とされた、環境（気候変動・生物多様性・環境保全）、ヘルスケア（健康・医療）、インフラ（インフラ整備・都市開発）について検討
- 指標を整備するための参照元としては、関係省庁等において既にとりまとめられている、インパクト創出・投資に資すると考えられる情報を中心に採用（例：国土交通省「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス等）
- インパクト目標・指標を測定するうえで必要となるベースライン値等として、公表されている統計情報等を元に、提供が可能な範囲で参考情報として掲載

※留意事項

- － 「指標集（案）」は、各分野における指標の収集を幅広く進めていくことに努めるものの、当該分野において社会的課題・インパクト創出が求められる課題のすべてを網羅しているわけではない
- － インパクト創出を企図する事業の内容によって、比較対象となるベースライン値等を、不足なく整備することは困難となることが想定されるため、それらを補完する材料として、先行取組事例における対処方法等を掲載
- － 「指標集（案）」において採用する指標は、原則、アウトカムに対する指標を予定（ただし、アウトプットとアウトカムの整理の仕方には幅があるため、採用する指標の一部はアウトプットに対する指標として捉えうることも想定）

データ・指標分科会 今年度の取組（6/7）【指標集（案）のイメージ】

指標集（案）【インフラ】のイメージ

- 指標集（案）【インフラ】のイメージ作成に当たって、関係省庁等がまとめるインパクト創出・投資に関する情報として、国土交通省が提示する『「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス』を活用した場合のデータベースイメージ

分野	関係省庁等がまとめるインパクト創出・投資に関する情報					各種指標・統計・調査結果の活用	プレゼンターから発表された取組事例等				
重点3分野	『「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス』					データベース案内板（試行版）※後述					
											
分野	インパクト	アクティビティ例	アウトプット例・アウトカム例	インパクト指標	単位例	指標参考リンク	参考数値・資料	出所	リンク	事例	URL
インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）	耐震性の確保	高い耐震性を有する建築物の整備	地震後施設復旧時間	分、時間	「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス	*		*	*	*
インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）	水害への備え	雨水貯留浸透施設・緑地	豪雨時の浸水被害の減少	m ² 、カ所	「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス	水害統計調査	国交省	リンク先	*	*
インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）	水害への備え	電気設備の浸水対策されている床面積	水害後施設復旧時間	分、時間	「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス	水害統計調査	国交省	リンク先	*	*
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

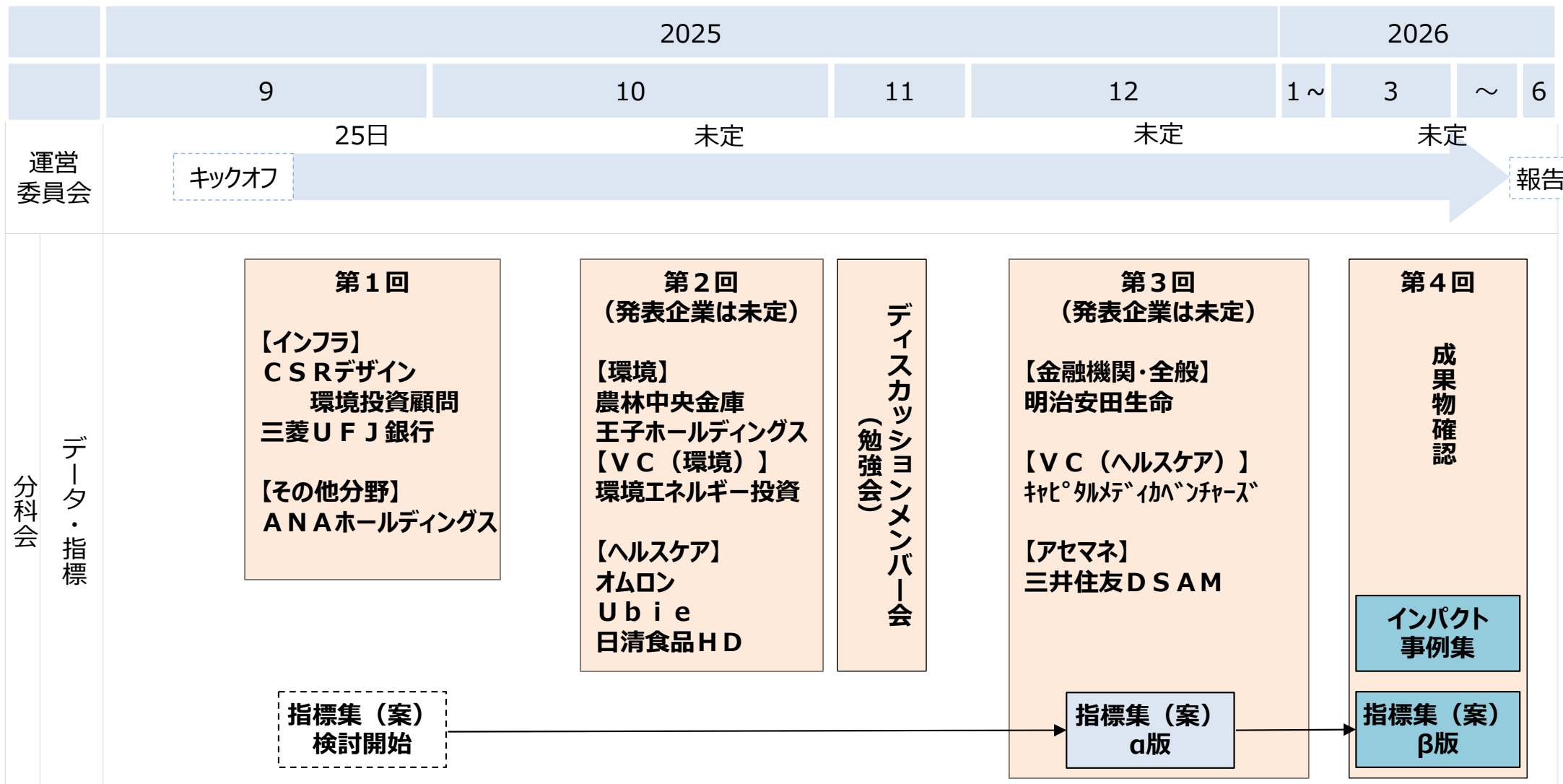
インパクト指標：インパクト特定・測定・管理に用いる指標は「アウトカム指標」等と呼ばれることもあるが、[インパクトコンソーシアム データ・指標分科会報告書](#)の記述に従い、分かりやすさの観点から、「インパクト指標」という用語に統一。

なお、アクティビティ（事業）によって直接的に提供される「アウトプット」と、「アウトプット」を通して生み出すことを目的としている変化等を示す「アウトカム」の整理の仕方には幅があるのが現状であることから、[本指標は、インパクト創出に至るパスウェイ（インパクトパス、ロジックモデル、セオリーオブチェンジとも）の設定の考え方によっては、アウトプット、アウトカムのいずれの指標としても捉えうる余地が存在していることに留意。](#)

データ・指標分科会 今年度の取組（7/7）【スケジュール（案）】

スケジュール（案）

- 分科会は年間4回を計画（下表記載のプレゼン企業は未定）
- 11-12月には、ディスカッションメンバー会を予定。内容を整理のうえ後日公表を予定



5. データベースの案内板（試行版） のご案内

データベースの案内板（試行版）のご案内

データベースの案内板（試行版）の実装

- 昨年度行った既存データベースを整理したデータベースの案内板（試行版）を展開
- インパクトコンソーシアムのウェブサイトのヘッダーから閲覧可能



データベースの案内板（試行版）のご案内

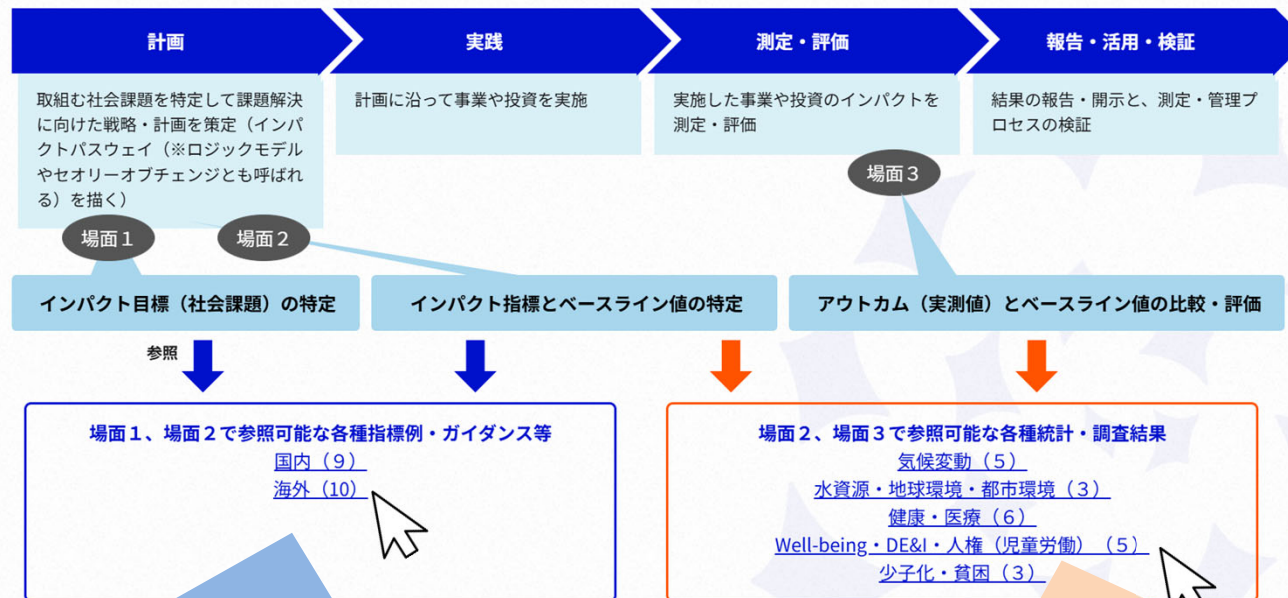
データベースの案内板（試行版）の構成

ホーム フォーラム 活動報告 インパクトデータベース案内板（試行版）

English

入会申し込み

インパクト特定・測定・管理プロセス



インパクトコンソーシアム

ホーム フォーラム 活動報告 インパクトデータベース案内板（試行版） English

入会申し込み

インパクトデータベース案内板（試行版）

一場面1、場面2で参照可能な各種指標例・ガイダンス等

①国内

データベース名	公表者	概要	参照URL
ローカルSDGsプラットフォーム	慶應義塾大学 川久保研究室	ローカル指標を用いて測定した国内の自治体のSDGsの進捗状況を公開。SDGsに取り組む自治体のリンク集や、全国の自治体の独自指標のデータベース等も掲載	https://local.sdg.jp/2lang/ja
SDG Action DB (Powered by Platform Clover)	慶應義塾大学 川久保研究室	オンラインSDGsプラットフォームPlatform Clover内に設置された産官学民の関係者の取り組み事例やデータをSDGsの17のゴールの観点から検索可能なデータベース	https://www.sdg-db.net/
ソーシャルボンド付属書4「ソーシャルプロジェクトの社会的な効果に係る指標等の例」	金融庁	発行体による社会的な効果の適切な開示の参考として、また、発行体を含む市場関係者による社会的な効果の理解や検討の一助となるよう、具体的なソーシャルプロジェクトごとに、インパクトに至る過程や、社会的な効果を示すために用いられる指標等を例示	https://www.fsa.go.jp/news/rd/sin/g/20220715/01.pdf
社会的インパクト不動産の実践ガイド		「社会的インパクト不動産」の基本的考え方を整理するとともに、不動産に係る社会課題・取組を4段階14項目53項目に整理・構造化	https://www.mlit.go.jp/tochi_fudo

インパクトコンソーシアム

ホーム フォーラム 活動報告 インパクトデータベース案内板（試行版） English

入会申し込み

インパクトデータベース案内板（試行版）一場面2、場面3で参照可能な各種統計・調査結果

③気候変動

種別	データベース名	公表者	概要	データ例	国内/海外	参照URL
気候変動	排出原単位データベース	環境省	サプライチェーン排出量算定に必要な排出原単位を一覧にまとめたデータベース	国内及び海外の排出原単位	国内/海外	https://www.mnec.go.jp/earth/ondank/a/supply_chain/gv/c/estimate_05.html
気候変動	環境アセスメントデータベース	環境省	地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境の情報を、地理情報システム（GIS）で公表	国立公園の自然環境インベントリ整備情報、全国CO2排出推計量メッシュマップ国内	国内	https://www2.env.go.jp/land/eshd/s/Service/About/it/ies/CO2
気候変動	JLCAデータベース	LCA日本フォーラム	経済産業省ならびにNEDO技術開発機構の推進の平成10年度から平成14年度にかけて実施した5か年の「第1期LCAプロジェクト」の成果	52工業会から自主的に提供された「Gate to Gate」のインベントリ分析用データ、インパクト評価用データ、文献データ国内	国内	https://lca-forum.org/database/

データベースの案内板（試行版）のご案内

アンケートのお願い



インパクトコンソーシアム

ホーム

フォーラム

活動報告

インパクトデータベース
案内板（試行版）

English

入会申し込み

要介護者向けサービス
を提供する企業の事例

【A インパクト目標】

- ① 要介護者の介護度の改善
- ② 介護職員の離職率の低下

【B 具体的なインパクト指標】

- ① 第1号被保険者に占める要介護・要支援認定者の割合
- ② 訪問介護員・介護職員の離職率

【D アウトカム（実測値）】

- ① サービス展開先における要介護・要支援認定者の割合 **17%**
- ② サービス展開先の離職率 **13.5%** 比較・評価

【C ベースライン値】

- ① 全国の要介護・要支援認定者の割合（R4年度） **19%**
- ② 全国の訪問介護員・介護職員の離職率 **14.4%**（R4年度）、**13.1%**（R5年度）

- ・ ローカルSDGsプラットフォーム（川久保研究室）
- ・ 社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアル（GSG）

- ① R4介護保険事業状況報告（厚生労働省）
- ② R4・R5介護労働実態調査結果（介護労働安定センター）

フィードバックはこちら

データベース案内板（試行版） アンケート

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

1. 氏名 *

回答を入力してください

2. 役職

回答を入力してください

3. 連絡先メールアドレス *

回答を入力してください

4. 案内板の中で参照したデータベース

回答を入力してください

5. 案内板に追加すべきデータベースとその理由

回答を入力してください

6. 案内板（試行版）のインターフェースに関するご意見 *

回答を入力してください

7. その他自由記載欄

回答を入力してください

6. ディスカッションメンバーによる取組紹介

6－1 CSRデザイン環境投資顧問

6－2 三菱UFJ銀行

6－3 ANAホールディングス

7. 事務局連絡／閉会

Q. 指標（案）に求めるものは？（複数可）

- a. 掲載指標数が多い
- b. 政府の計画・目標が一覧化されている
- c. 社会課題が分かりやすい
- d. SDGsとの関連性が分かる
- e. 指標を活用した取組事例が掲載されている
- f. アウトプット指標とアウトカム指標の区別が明示されている

Q. 関心の高い3分野（環境、ヘルスケア、インフラ）を除いた関心の高い分野は？（複数可）

- a. 教育・子育て
- b. 食料・農業
- c. 人材・働き方
- d. 中小企業支援
- e. 女性活躍推進
- f. すべての人の権利保障

Q. IMM（インパクトの特定・測定・管理）の実践において困っていることは？（複数可）

- a. 事業と結びつくインパクトの特定
- b. ロジックツリーの作成
- c. 指標の設定やその計測・集計
- d. 社内外へのアピールの方法